



グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

01 温水ため池のニューフェイス

02 美幌町の美術

Vol.319

2023/12/01



城坂結実 《黄金色の森》

Photo 今月の1枚

11月に入ると、美幌町の森ではカラマツが一斉に黄葉し始めます。日本産のマツでは、唯一落葉するカラマツ。はらはらと舞い落ちるカラマツの葉に日の光が当たると、森の中は、黄金色のシャワーが降り注いだように輝きます。秋が深まり雪が降るまでの、束の間の美しさが楽しめるのも、あとわずかです。(城坂結実)



01 Green Column グリーンコラム

温水ため池の ニューフェイス

写真・文／城坂結実

秋も深まった10月末。美幌町福住地区にある、美幌温水ため池へ出かけました。^{うっそう}鬱蒼とした林の脇を歩きながら、全国で相次ぐ熊の目撃情報に不安を覚えつつ、ため池内を観察しました。

美幌温水ため池には、美幌博物館の第2展示室で紹介しているように、トンボの仲間や魚など様々な生き物が暮らしています。植物では、アズマツメクサやネムロホシクサといった湿地を好む草花が見られる、美幌町でも数少ない貴重な場所でもあります。しかし、ここ数年で、ガマやフトイといった大型の水草が増え、美幌温水ため池の様子が変わっているような気がしています。

2021年9月、学芸協力員のUさんが、写真のイチョウウキゴケを見つけました。ウキクサ（浮草）のように水に浮くことができ、秋に黄葉する

イチョウに形が似ているのが、名前の由来のようです。ウキクサの仲間かと思ったら、ウキゴケ科に属するコケの一種とのこと。水槽に入れて楽しむ鑑賞用としても、人気があるコケだそうです。

水に浮くコケなんてあるのか、と感心しながらウキゴケ科を調べていくと、…ん!? 一瞬、読み間違いかと思っってしまった、その名も「ウキウキゴケ」。植物に限らず、生き物の和名（日本語名）には、興味深いものが多々ありますが、久しぶりに面白い名前に出会いました。

ウキウキゴケは、北海道には分布していないようなので、いつか出会えるその日を、ウキウキして待ちたいと思います。

美幌町の 美術

作品／中村裕 文／早田真莉子



「美幌町の美術」というお題で、
なかもむらひろし
中学校で講演をさせていただく機会がありました。講演で紹介した作家のひとりに、美幌町出身の中村裕さんという陶芸家があります。皆さんは、彼の作品を町内のとある場所（屋外）で見られることを、ご存じでしょうか。講演では、こうしたクイズ形式でも、美幌町の美術について学んでいただきました。

中村さんは現在、北海道陶芸会会長を務めながら、札幌市の「草の窯」で制作されています。日本陶芸美術協会の会員でもあり、北海道を代表する陶芸家です。作品の題材には、北海道の風景や生きものを多く用いており、なかでも馬は、中村さんの作品によく登場するモチーフです。

中村さんが幼いころ、ご実家は美幌町内で米屋を営んでおり、当時は馬でお米を運んでいたことから、馬は中村

さんにとってとても身近な動物だったそうです。そのため、雪原などの故郷の風景とともに、馬の存在は中村さんの心に深く刻まれ、美しい作品へと昇華されています。

ほかにも、美幌町の川で「オショロコマ」を捕まえて遊んだ経験から、写真の箸置きのように、この魚を題材とした作品もしばしば制作しています。かつて子どもたちの遊び相手だったオショロコマも、いまでは“幻の魚”と呼ばれるほど、町内では希少な魚です。このように、美幌町ゆかりの作家の作品を通して、町の記憶にも触れることができるというのは、なんともロマンがあり郷愁に駆られるものですね。

中村さんの作品は「草の窯」公式ホームページ (<https://kusanogama.com/>) でも閲覧可能です。数々の陶芸展での受賞作も掲載されていますので、ぜひご覧ください！

Exhibition 展示

企画展「おひろめコレクション展」

12月9日(土)～1月14日(日)

Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

博物館講座(歴史編)「美幌懐かしの学び舎」

12/16(土) 10:00-11:30

美幌博物館

講師／八重柏誠(美幌博物館)

対象／中学生以上(小学生以下は保護者同伴)

申込み／美幌博物館へ電話申込み(12/1～12/15)。定員 25 名。

プチ工房「モールサンタ」

12/15(金)、16(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館 1 階 講座室・300 円

講師／早田真莉子(美幌博物館)

対象／どなたでも(小学 3 年生以下は保護者同伴)

申込み／申込み不要

モノ作り講座「版画で手作りクリスマスカード」

12/23(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館 1 階 講座室・300 円

講師／早田真莉子(美幌博物館)

対象／どなたでも(小学 3 年生以下は保護者同伴)

申込み／美幌博物館へ電話申込み(12/1-12/22)。各回定員 12 名。

プチ工房「モザイクタイルのコースター」

1/12(金)、13(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館 1 階 講座室・300 円

講師／城坂結実(美幌博物館)

対象／どなたでも(小学 3 年生以下は保護者同伴)

申込み／申込み不要

美幌峠のお土産品はありませんか？

美幌峠で昭和時代に販売されていたお土産品を集めています。クッシーに関係するものも大歓迎です。

例えば、ペナント、提灯、キーホルダー、「クッシーの歌」のレコードなどがありましたら、美幌博物館へお電話でご連絡ください。



Tweet つぶやき

美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

12月9日(土)から企画展「おひろめコレクション展」が始まります。美術分野からは、美幌町出身の銅版画家 松本優治さんの未公開作品約 40 点をおひろめします。ほかにも、昔懐かしい生活資料などがご覧になれます。ぜひお越しください。
(早田真莉子)



【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】城坂結実

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美禽 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

